

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	鼻茸 <sup>はなたけ</sup> を伴う慢性副鼻腔炎に対するデュピルマブ投与時の治療効果に関連する因子の検討		
1. 研究の目的と方法	鼻茸 <sup>はなたけ</sup> を伴う慢性副鼻腔炎の患者さんにデュピルマブ（商品名デュピクセント）という薬が使用されることがありますが、効果には個人差があり、よく効く患者さんとあまり効かない患者さんがいます。本研究では過去の診療情報を振り返り、「治療効果に関連する因子の候補となる項目」と「実際の治療効果」の関係を調べることにより、デュピルマブ（商品名デュピクセント）を使用する場合に治療効果と関連するものがあるかどうかを検証します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	鼻茸 <sup>はなたけ</sup> を伴う慢性副鼻腔炎の患者さんで、2020年3月1日～2023年7月31日までの間に東京慈恵会医科大学附属病院の耳鼻咽喉科においてデュピルマブ（商品名デュピクセント）投与を開始した方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、最終の副鼻腔手術日からデュピルマブ（商品名デュピクセント）投与開始までの期間、血中好酸球割合、血中好酸球数、血中総IgE値、喘息合併の有無、NSAIDs（エヌセイズ）により誘発される呼吸器疾患合併の有無、デュピルマブ（商品名デュピクセント）投与開始前後の鼻茸 <sup>はなたけ</sup> スコア・鼻閉スコア、デュピルマブ（商品名デュピクセント）投与開始前後の副鼻腔CTスコア	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学講座
		氏名	高石慎也
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ		

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年4月頃～	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学講座 研究責任者：助教 高石 慎也（たかいし しんや） 電話番号：03-3433-1111（内線 3601） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。